

地域活性化のキーワードは

『連携』



商業部会長

大杖 康之
(株)大杖呉服店



工業部会長

津田 豊
(株)ツダ



観光部会長

藤村 良男
(株)八幡光雲堂

旧5町の商工会が合併し、淡路市商工会が誕生して7年。そして、5部会すべてが始動してから3年が過ぎた。不安定な世界経済、激動の地域情勢の中、部会としてどのような道を考えているのか……新たに就任された部会長の皆様に、今後の部会の方針について語っていただいた。

行政や部会同士の

『連携』を密にしよう

岡 皆さん、25年度の重点事業はどのように考えていらっしゃるますか？

大杖 商業部会はやっぱ「プレミアム付きふれあい商品券」の販売ですね。昨年度は年間で2億2千万円分を発行して、経済効果もありました。今年度も淡路市の協力を得て、7月7日と11月23日に販売する予定です。そ

れから『夏のスタンプリー事業』、『年末ふれあいセール事業』、『新春宝くじ事業』ということ、

年3度のイベント事業も計画しています。大型店が次々参入してきている環境の中でも、ふれあい商品券を使って地元の商店で買い物をしてくださるお客様に喜んでいただける事業を考えていただけら、と思っています。あとは顧客管理や商業部会の情報に特化したホームページ作り。他の部会とも連携して行って、より魅力のあるものにできたらな、と。部会のスケールメリットを活かすために一歩踏み出したところですね。

津田 工業部会の重点事業である研修会事業については、北淡路に本社機能を移転されるプライミクス(株)代表取締役社長・古市

氏に8月27日、ご講演いただくことになりました。

大杖

本社機能をまるまる淡路島に移すって、普通ありえないですよ。生活基盤すべてがこちになるということですからね。商工会にも入っていただきたいね。

藤村

もちろん、お願いするつもりです。それから視察研修については、東大阪方面、もしくはものづくり事業に特化した企業や地域について実施しようということを決まっております。工業部会の事業所さんというのは非常に元気で、ここ4、5年の間にかんがりの設備投資などをされております。そういった状況も踏まえて、単なる連携や情報交換だけではなく、部会員相互の理解を深める研修事業も含めて行っていき

津田

たいと考えております。また、行政機関との連携も進めていきたいと考えております。

藤村

25年度の観光部会は、前部会長の竹代さんのお考えを継承するというところで、淡路市からの受託事業になっている『東京PRキャンペーン事業』、『よしもと47ご当地市場PR事業』を続けていって、みんなと話し合いながらより効果的なPR事業を目指していったらいいんじゃないかな、と。それから『淡路島ええもん・うまいもんフェア』、今年『食のブランド淡路島』と同時開催するということ、お互いに競い合うようなことをやれば、より一層盛り上がるんじゃないかと期待しています。

岡

『淡路島ええもん・うまいもんフェア』はかな



司会／広報委員長

岡 幸夫
(株)ほくだん



建設業部会長

池上 明憲
(株)池上建設



サービス業部会長

砂田 安雄
砂田設計事務所

り認知されてきたんじゃないですか？

大杖 商工会の中心的事業になる魅力的な事業ですね。

藤村 観光PRにもなりますよね。『ええもん』って言うたら『モノ』もあるし『ヒト』もあるし、なんでもあるわけですから。

大杖 島外のお客様に来ていただけるような仕掛けをして、京阪神からも買物に来る形にもつていたら、合併のスケールメリットも出せるんじゃないかな。今までは地域バラバラでできなかったことも、部会を通じて連携していったね。

藤村 ぜひ、連携していきたいですね。あと、特産品として開発中のオニオンラスク、かなりいいものらしいです。製品としての販路開拓とかPRの仕方とかがこれからの課題ですね。部会の中で出てきた意見を皆さんと相談して、具体的なものを生み出していきたいと思っています。

池上 建設業部会は視察研修事業と行政懇談会やね。

特に補助金制度について、行政の方から説明をしてもらいたい。公共工事の仕事も回してもらいたいし、なるべく語りかけて、密に連携を取っていかんと。

岡 防災という意味でも道路整備は重要ですよ。

池上 元の状態に戻すことはもちろん、新たに使いやすい道を整備するとか、きちっとしてもらいたい。

藤村 余談ですけどね、今サイクリングのお客様がすごく多いんです。国道とか主要な道路にサイクリングロードを併設するだけでもかなりの事業になりますよ。

池上 なるほど。みんなに意見をもらって、そんな提案もしていきたいと思います。他の部会とも協力していきたいんで、よろしくお願いします。

砂田 サービス業部会は、特に島内定住化人口促進事業を中心に考え、定住人口が増えることによって、淡路島が発展することを期待して、淡路島不動産情報ネットワーク

『AREIN事業』であるとか、サービスエリアでの観光客動向調査事業であるとか、のどかな山や田園風景、国生み神話といった歴史とロマンがある古い街並みをPRする『まちあるき事業』などを行っていくです。『淡路島ええもん・うまいもんフェア』の時にはPRブースを作って、具体的な案も提案していきたいと考えています。行政、観光部会やほかの部会とも連携してやっていきたいと思っております。

岡 皆さん『連携』がキーワードですね。

商業部会は若手育成とプラント対策が急務

岡 では、今後3年間、どのような部会にしていきたいか、お聞かせいただければありがたいです。

大杖 商業部会の場合若手が育ってきていますので、若手の知恵も借りて、消費者に喜んでもらえる事業を行っていききたいですね。来年4月に志筑新

島にできる大型スーパーマーケット『PLANT (プラント)』対策もどういう形で対応できるか、慎重に検討していきたいです。今回初めて、行政と部会だけじゃなく、アルクリオ、カリヨン広場、イオン淡路店の代表者と協議会を行ったんです。みんな危機意識を持っているんですよ。ここが一番の商業の中心地ですからね。各団体や行政と密に連携を取って、魅力のある事業展開をすることによって、商工会の発展と地域の活性化に繋がっていくんじゃないかな。

藤村 難しいですが、商工会が間に入って会員全体をまとめられれば、大きな力になると思いますね。

課題解決のために、知恵を出し合いたい

津田 工業部会は、より多くの会員からご意見を頂戴する仕組みをつくるというのが一つ。新規誘致企業と既存企業とどんなシナジー効果が出てくるの

島内定住化の鍵は
若者世代との『連携』

かをよりはつきりさせて、お互いWin・Winの関係で仕事を進めていけたらいいなと考えております。

藤村

私個人としては、観光部会に参加してくれる部会員が、自分にとってプラスになる場」と思ってもらえるようにしたいなあと考えております。

津田

『部会事業に参加したら何か得て帰ってきた』というようにしていきたい。いろんな人と会っただけ、いろんな勉強ができると思うんですよ。

大杖

観光と言えば、前回の『淡路島ええもん・うまいもんフェア』のモニターツアーで来られた東京の記者の方に「とにかく公共交通が不便。淡路島に興味をもった関東の方が大勢来られたら、こっちの人が困るでしょう。だから記事にできません」と言われたんです。

藤村

観光客に公共交通のことを聞かれても答えられないですよ。

池上

10月から市が北淡路・北淡方面でコミュニティー

バスの運行実験を始めるそう、休日は何便かが『あわじ花さじき』などの観光施設を回ると聞いています。出てきた問題点をみんなで知恵を絞って解決できれば、長く続けられるんじゃないかな。

大杖

淡路市全体に広がってほしいですね。観光客が増える要素はあるからね。

岡

建設業部会はいかがですか？

池上

建設業部会で商売している人はずっと売上が減っていて、事業をやめるかどうかの瀬戸際にある。みんなが事業を続けていける状態にできる勉強会でもできらんもんかな、と。10年前と比べても、みんな行き詰っている。どないぞならんかな、と思っっています。

岡

2、3年で新しい工法や機械が出てきますから、対応するのは大変ですよ。

池上

すぐ時代についていけなくなる。どう勉強したらいいのかが難しいところやけど、みんな考えていきたいな、と。

砂田

サービスマン部会はいろいろな業種がありますんで、定住化を促進して、皆さんが活発に仕事できて、淡路島でお金が十分まわるように頑張ってください。

大杖

講演会事業も部会テーマに沿った内容にしたいし、島外への淡路島のPR活動や観光客の誘致、島内の魅力掘り起こしを通じて淡路島に住んでいただくことを最終目標にしております。

島内定住化の鍵は
若者世代との『連携』

大杖

今、島外の若い人は『淡路島で商売したい』という人が多くて、そういう人たちと連携したいよね。その方々は、どんなことをしたいんですか？

津田

やっぱりカフェが多いね。古民家を借りてついでにのんびりしているみたいですね。淡路島のことを気に入っているけど、どうやって生計を立てていくかっていうのが課題ですね。

岡

農業で生計を立てるために、農地の段取りまでできた人つてごく一部ですね。

藤村

でも、『淡路島の伝統を知りたい』、そして最終的には『淡路島に住みたい』って、かなり求めているんですよ。

岡

社会奉仕の意識はすごく強いですよ。

藤村

嬉しいことですよ。北淡の生田地域が運営している『そばカフェ生田村』近辺でも新しくカフェができて、その店長さんが、大阪から来られた女性らしいんです。

大杖

そういう場所でも『来ませんか？』と募集したら、かなり応募があるらしいですよ。

大杖

たとえば不動産業者が貸してもいい古民家リストを作って、賃料の交渉もしてあげて、間に入ってあげられたらいいですよ。

物件を持っている方も、相手を知らないから貸せないでしょう。その人を信用しているから貸せるんですよ。不動産業者のようなプ

大杖

でも、『淡路島の伝統を知りたい』、そして最終的には『淡路島に住みたい』って、かなり求めているんですよ。

岡

社会奉仕の意識はすごく強いですよ。

藤村

嬉しいことですよ。北淡の生田地域が運営している『そばカフェ生田村』近辺でも新しくカフェができて、その店長さんが、大阪から来られた女性らしいんです。

大杖

そういう場所でも『来ませんか？』と募集したら、かなり応募があるらしいですよ。

大杖

たとえば不動産業者が貸してもいい古民家リストを作って、賃料の交渉もしてあげて、間に入ってあげられたらいいですよ。

津田

物件を持っている方も、相手を知らないから貸せないでしょう。その人を信用しているから貸せるんですよ。不動産業者のようなプ

藤村

うちはそのうち跡取りを募集しようと思ってるんですよ。一般公募して継げるような人、最初は低給料でも我慢できるような人を雇ってね。

大杖

そういうことを商工会で取り纏めできたら、いろいろできそうですね。こういう話ができるネットワークも一つの縁結びですわ。

異業種間、部会間、相互間でうまくやっていくといいですね。こういう部会長会っていいですね。

砂田

部会を超えての異業種交流ですからね。

藤村

部会を超えての異業種交流ですからね。

大杖

部会を超えての異業種交流ですからね。

藤村

部会を超えての異業種交流ですからね。

大杖

部会を超えての異業種交流ですからね。

藤村

部会を超えての異業種交流ですからね。

大杖

部会を超えての異業種交流ですからね。

